



平成20年4月から 学校給食センターが統合されます



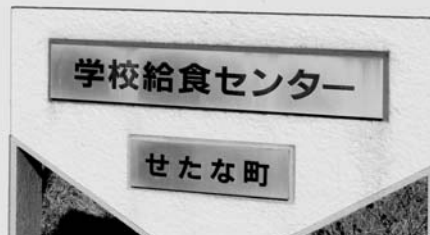
より機能的に、安全で安心できる給食を提供するため、3区にそれぞれある学校給食センターを平成20年4月から1つに統合することになりました。

■現在の給食費（月額）

	小学校	中学校
北檜山区	3,600円	4,400円
瀬棚区	3,600円	4,550円
大成区	3,500円	4,300円

■統一後の給食費（月額）

	小学校	中学校
せたな	3,600円	4,400円



- 給食費の納入方法は、変わりません。口座振替による自動振込みとし、ご指定の金融機関に毎月25日に口座から引き落としさせていただきます。
- 学校給食に要する経費の負担
保護者の皆さまからご負担いただく学校給食費は、賄材料費（給食用調理材料費）に充当させていただきます。従って、学校給食センターの管理運営費、人件費は町がこれまで通り負担いたします。

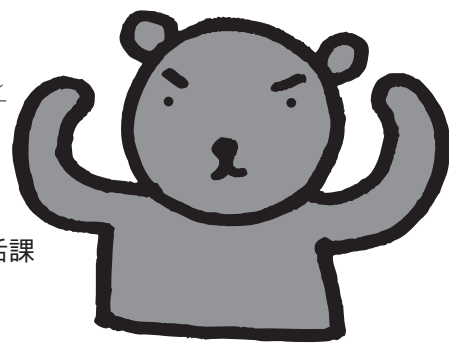
※給食費については、北檜山区の現在の金額に合わせます。
※北檜山学校給食センターから瀬棚区・大成区の学校に給食を配送します。

■問い合わせ先
北檜山学校給食センター ☎ 0137-84-4622

■ヒグマパネル展を開催します ～たくさんのご来場おまちしております～

- 日時／12月3日（月）～7日（金） 午前9時～午後3時30分
- 場所／久遠小学校
- 内容／・ヒグマに出遭わないために
・ヒグマ出前教室開催結果などについて
・ヒグマの生態について

■問い合わせ先
檜山支庁地域振興部環境生活課
☎0139-52-6494



昨年制定された「北海道教育の日」（十一月一日）。「すべての道民に教育尊重の気運を高めるため、教育振興を図る日が必要」と、道退職校長会、道教育振興会、（社）日本教育会北海道支部の三団体が連携し、十七年に制定推進協議会が発足。各校長会、道P連、道経済連など三十五団体が参加、道教委、市町村教委連などが後援、制定に向けた取組が展開されてきました。

各市町村レベルでも「教育の日」制定が行われるなど、運動の高まりも見られ、道民運動推進協議会が設立され、更なる浸透・発展を目指しています。十月と十一月を協賛月間として位置づけられ、五〇〇を超える事業が全道各地で展開されました。

檜山においても「ストップ・ザ・いじめ」子ども会議（十一月十七日合同庁舎）を開催、児童生徒のパネルディスカッションや実践発表などが行われました。

本町においても各学校での実態に応じて、いじめ防止児童生徒集会や標語、ポスターの作成啓発等が取り組まれます。また、旧三地区にあったいじめ問題対策会議を解消し、この度「せたな町いじめ・不登校等問題対策協議会」を設立、各校校長、PTA会長、児童委員、行政担当者からなる第一回の協議会が十一月二十一日に開催され、学校・家庭・地域それぞれが連携を一層強化して取組み、子どもたちの健全育成を図っていくことが確かめられました。

プリズム



せたな町女性研修交流会

10月21日（日）、大成町民センターにおいて、せたな町女性研修交流会が行われました。

当日は、せたな町内から82名の女性が参加し、有限会社ナチュラルハート代表取締役神田裕子氏の講演や「久遠神楽」の演舞。更には「学びあいネットワーク事業」によるペーパーブロック・エコバック・リサイクル帽子・ミニ針刺の作成、七宝焼、健康体操が行われました。参加した女性達は、秋の一日を有意義に過ごしました。

牧場体験

10月27日（土）行われた「ふるさと体験塾」では、9名の子どもが北檜山区丹羽の大津牧場で、牧場体験をしました。牧場体験では、普段なかなか知ることの出来ない牛の話や、実際に乳牛から乳を搾ったり、牧場にいる他の動物たちとふれ合いを体感しました。また、実際に搾った牛乳からバター作りを体験した子どもたちは、牧場を身近に感じました。



せたな町民文化祭

本年度も11月3日（土）から11月4日（日）までせたな町各会場において文化祭（作品展示の部）が開催されました。出品者・団体の皆様ともども熱のこもった作品を展示をしていただきました。



大成会場【作品展示の部】
出品点数741点／鑑賞者約250名



瀬棚会場【作品展示の部】
出品点数800点／鑑賞者約500名



北檜山会場【作品展示の部】
出品点数747点／鑑賞者約550名